

基本的な考え方

本町への多様な人口の流入促進

本町の生活基盤の充実を図り、若年層の流出に歯止めをかけるとともに、町の強みを最大限に活用しながら個性ある魅力づくりを進め、本町出身者のUターンや首都圏をはじめとする都市部からのJターン等の促進や関係人口の拡大のほか、地域づくりを支える学生等とのつながりを強化し、多様な世代の流入増大に取り組んでいく。

若い世代の結婚・出産・子育てに対する希望の実現

本町の継続的な発展と活力を維持するためには、出生数の増加や転出口抑制などによる長期的な人口構造の若返りを進めていくことが必要となるため、若い世代が安心して結婚・出産・子育てできる環境の早期整備に取り組んでいく。

時代の変化に対応した安全・安心で豊かな地域づくり

デジタル化や持続可能な社会を推進していく中で、子どもから高齢者の誰もが生きがいをもち、元気に暮らせる環境づくりや、防災力ある都市基盤の整備、地域の伝統文化や自然に恵まれた質の高い暮らしの形成など、安全に安心して暮らすことができる豊かな地域づくりに取り組んでいく。

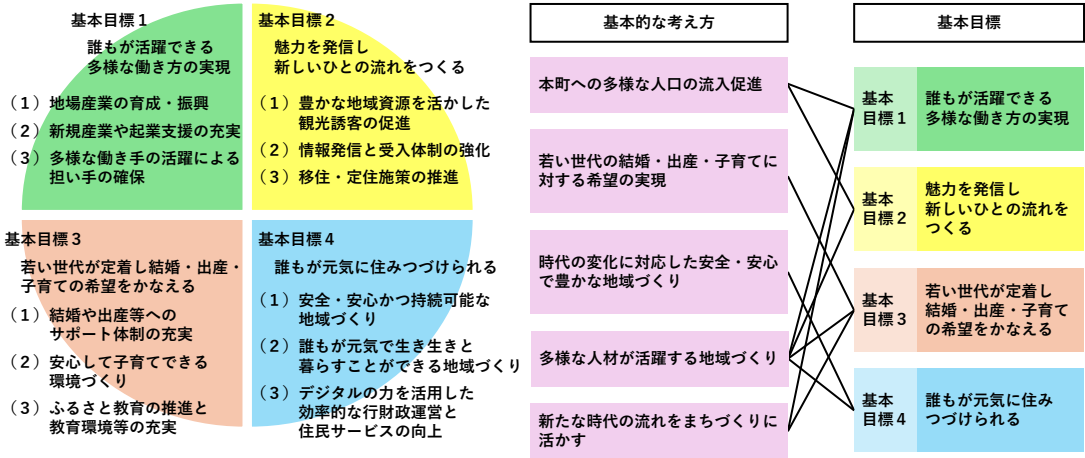
多様な人材が活躍する地域づくり

持続可能な活力ある地域づくりに向け、若者や高齢者、女性、障害者、外国人など、多様な人材が役割を持ち、活躍できる環境づくりに取り組んでいく。

新たな時代の流れをまちづくりに活かす

SDGsの理念やSociety5.0の実現に向けた未来技術を活かし、政策全体の最適化や地域の課題解決の加速化に向けたまちづくりに取り組んでいく。

基本目標



具体的な施策

基本目標 1 誰もが活躍できる多様な働き方の実現

基本的方向	① 町内の安定した雇用の創出に向け、地場産業である農林水産業の成長産業化に取り組む。
	② 町内の新たな仕事の創出・起業に対する支援を充実するとともに、魅力的なしごと・多様な働き方の実現により、まちの活力を高める。
具体的な取り組み	③ 本町の活力を支える人材を掘り起こし、育成や技術継承に取り組む。
	・農地情報の一元化や窓口情報の充実による企業の農業参入の促進 ・企業誘致による地域経済の活性化及び雇用の創出 ・農林水産業者の担い手の確保・育成と経営の安定化 など

基本目標 2 魅力を発信し、新しいひとの流れをつくる

基本的方向	① 「のと里山海道」や「のと里山空港」をはじめとする陸・空の充実した広域交流基盤や北陸新幹線等の交通の利便性を活かした移住定住・交流人口の拡大を図る。
	② 本町が誇る食や豊かな自然資源、ボラ待ちやぐらやキリコ祭りをはじめとする歴史・文化資源等を活用し、訪れた観光客の満足度を高め、繰り返し本町を訪れてもらえるよう、観光分野の育成と交流促進に取り組む。
具体的な取り組み	③ 首都圏等からの移住者の増加に向けて、県や関係機関とも連携しながら、町有地無償分譲をはじめとする移住定住支援制度の充実や情報発信の強化を図るほか、それを支える受入れ環境整備に取り組む。
	④ 本町に継続のかつ多様な形で関わる本町出身者や連携する大学等をはじめ、ふるさと納税者、首都圏等からの観光客に至るまで「関係人口」の創出・拡大に取り組む。
具体的な取り組み	・まいもんまつり等の観光関連イベントの開催 ・地域の特性を活かした公共交通機関等の再整備 ・穴水ニュータウン宅地無償分譲事業の拡大 など

基本目標 3 若い世代が定着し結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本的方向	① 町内の若い世代の結婚に向け、各種情報の提供や相談体制の充実、出会いの機会の提供等を行う。
	② 子育てに対する精神的な不安の軽減に向け、子育て世帯への経済的支援や妊娠から出産・育児に至る一貫した母子保健対策に取り組む。
具体的な取り組み	③ 子育て世帯の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現に向け、採用・配置・育成等で男女間の格差の是正を図り、仕事と家庭が両立できる働き方の実現など子育て環境の改善に取り組む。
	④ 次世代を担う子どもたちがふるさとへの愛着や誇りを持ち、健やかに成長できるよう、ふるさと教育の充実に取り組むとともにデジタル技術の活用等により、教育の充実に取り組む。
具体的な取り組み	・婚活イベント等の開催及び支援 ・周産期医療の強化及び遠隔医療相談等の推進 ・児童生徒を含む町民への地域の歴史と文化等を実際に体験できる学びの機会を提供し、ふるさとへの愛着を高める など

基本目標 4 誰もが元気に住みつけられる

基本的方向	① 安全で安心なまちづくりに向け、公共インフラの維持管理や更新を戦略的に進めるほか、今後、増加すると想定される空き家の対策・活用、公共交通対策や地域防災力の強化と防犯環境の充実を図るなど、行政・住民が一体となって将来の穴水町を支える取り組みを推進する。
	② 健康長寿の延伸に向けた若い世代から健康づくりに取り組むことに重点をおき、住み慣れた地域で生き生きと暮らすことが出来る環境づくりや地域コミュニティ機能の維持・強化を図る。
具体的な取り組み	③ 本町が有する魅力的な地域資源を活用し、各種団体との協働により地域経営力を高め、持続可能なまちづくりに取り組む。
	④ 幅広い年齢層の町民が運動できる環境を整え、スポーツを通じた健康増進・心身形成・疾病予防を推進する。
具体的な取り組み	・バス路線や鉄道等の公共交通の維持確保とあり方の検討 ・高血圧ゼロプロジェクト、あなみず健康チャレンジ事業の実施 ・住民との協働によるまちづくりの推進 など

横断的目標 1 デジタル化の推進

基本的方向	① 産業、福祉、教育、行政などさまざまな分野においてデジタルの力を活用し、生産性の向上や効率化を図るとともに、町民の誰もがデジタルの恩恵を享受し、豊かさを実感できる「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」社会を推進する。
取組の具体的方向	・デジタル技術を活用した魅力あるまちづくりの推進 ・ガバメントクラウドを活用した自治体情報システムの標準化・共通化による事務の効率化 ・耐災害性の強化と安定的な情報伝達手段の確保 など

横断的目標 2 カーボンニュートラルの推進

基本的方向	① 2050年のカーボンニュートラルに向けて、再生可能エネルギーの導入促進やリサイクルを推進するとともに、町民や事業者などの行動変容を促進する。
取組の具体的方向	・化学肥料の低減など地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援 ・住宅等の再生可能エネルギー導入の推進 ・リサイクルの推進等による資源循環の促進 など

復興計画 1 災害に強いまちづくりプロジェクト

基本的方向	① 子どもから大人までの町民の誰もが防災の意識をもっていただけるような取り組みを推進し、また、発災時には、要配慮者などを含む全町民が安全に避難できるような避難計画の策定支援や防災士の育成に取り組む。 ② 地域防災計画やハザードマップの見直しや、災害を乗り越えるための新たな協力体制の構築に取り組む。 ③ 大規模な災害を想定した道路網の整備や公共施設などの機能強化と拡充、緊急情報が確実に収集できるような通信環境の整備に取り組む。 ④ 災害時の緊急医療体制の再整備や拠点となる医療機関と福祉施設などの機能強化を図る。 ⑤ 震災を風化させないための施設整備や語り部の任命、スタディツアーの受入れに取り組む。
取組の具体的方向	・実践的な防災訓練及び防災・防犯教育の実施 ・能登半島地震を教訓とした地域防災計画やハザードマップ、都市計画の見直し及び個別避難計画やマイタイムラインの策定 ・災害時の緊急医療体制の再整備 ・次世代へ震災の経験を伝承する語り部の任命 など

復興計画 2 地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクト

基本的方向	① 地区集会所などの地域コミュニティ施設の再建や地域の祭りなどへの支援、集落で住み続けられるためのインフラの支援などを行い、地域コミュニティ維持と再生に取り組む。 ② 深刻な被害を受けた農林水産業者への早期再開に向けた支援や担い手の確保のための支援強化の他、新分野展開などの事業の再構築を目指す事業者への支援などを行い、被災産業への早期再建に取り組む。 ③ 観光面だけでなく防災面も兼ね備えた環境整備やデジタル技術を活用した新たな魅力の創出に取り組む。 ④ 企業などの誘致強化及び大学・学会などとの連携を推進し、地域の活性化や雇用の創出、新たな観光コンテンツの造成などに取り組む。 ⑤ 移住者や二拠点居住者への支援やサテライトオフィスのための施設整備、町の復興と発展のための観光大使・復興大使の任命を行い、移住定住人口・関係人口の拡大を図る。
取組の具体的方向	・集会所や神社等の地域コミュニティ施設の再生 ・住み慣れた場所に住み続けるための集落単位の自立分散型インフラの導入 ・農林水産業のブランド力及び連携の強化 ・誘致企業と地元企業の連携促進 など

復興計画 3 魅力ある子育てと教育の環境づくりプロジェクト

基本的方向	① 周産期医療の強化と充実や不足する保育士の安定的な確保、子育てと仕事を両立していくための町内企業との連携に取り組む。 ② 子育て世代のニーズに合わせた全天候型の遊び場の整備や妊娠から子育てに必要な支援の継続と拡充を行い、子育てのための生活環境整備に取り組む。 ③ 大規模な災害でもいち早く保育と教育が行えるよう防災機能の強化を図り、災害に強く魅力ある保育・教育施設の整備に取り組む。 ④ ふるさと穴水への理解を深める「ふるさと教育」の拡充や、小学生から大学生までが学ぶ機会を創出し、穴水で学ぶことに誇りが持てる環境の整備に取り組む。
取組の具体的方向	・保育士の安定確保 ・妊娠から子育てに必要な支援の継続と拡充 ・町外学生等との交流の推進 ・町立小中学校と地元の石川県立穴水高校、石川職業能力開発短期大学の魅力化の推進 など

復興計画 4 奥能登の玄関口再生プロジェクト

基本的方向	① 「奥能登の玄関口」だけではなく「目的地 穴水」となるように穴水駅舎やその周辺施設などの再整備やにぎわい創出に向けた商店街等の再生に取り組む。 ② 奥能登の玄関口という立地条件を活かした交通のハブ機能と二次交通の強化を行い、公共交通機関や新たな交通手段の整備に取り組む。 ③ 復興公営住宅の建設や新たな住まいが確保できるような面的整備と物流拠点や物流ルートの整備に取り組む。
取組の具体的方向	・穴水駅舎及び周辺施設の再整備 ・にぎわい創出に向けた商店街等の再生 ・地域の特性を活かした公共交通機関の再整備 ・新たな住まいの確保に向けた面的整備の推進 など

